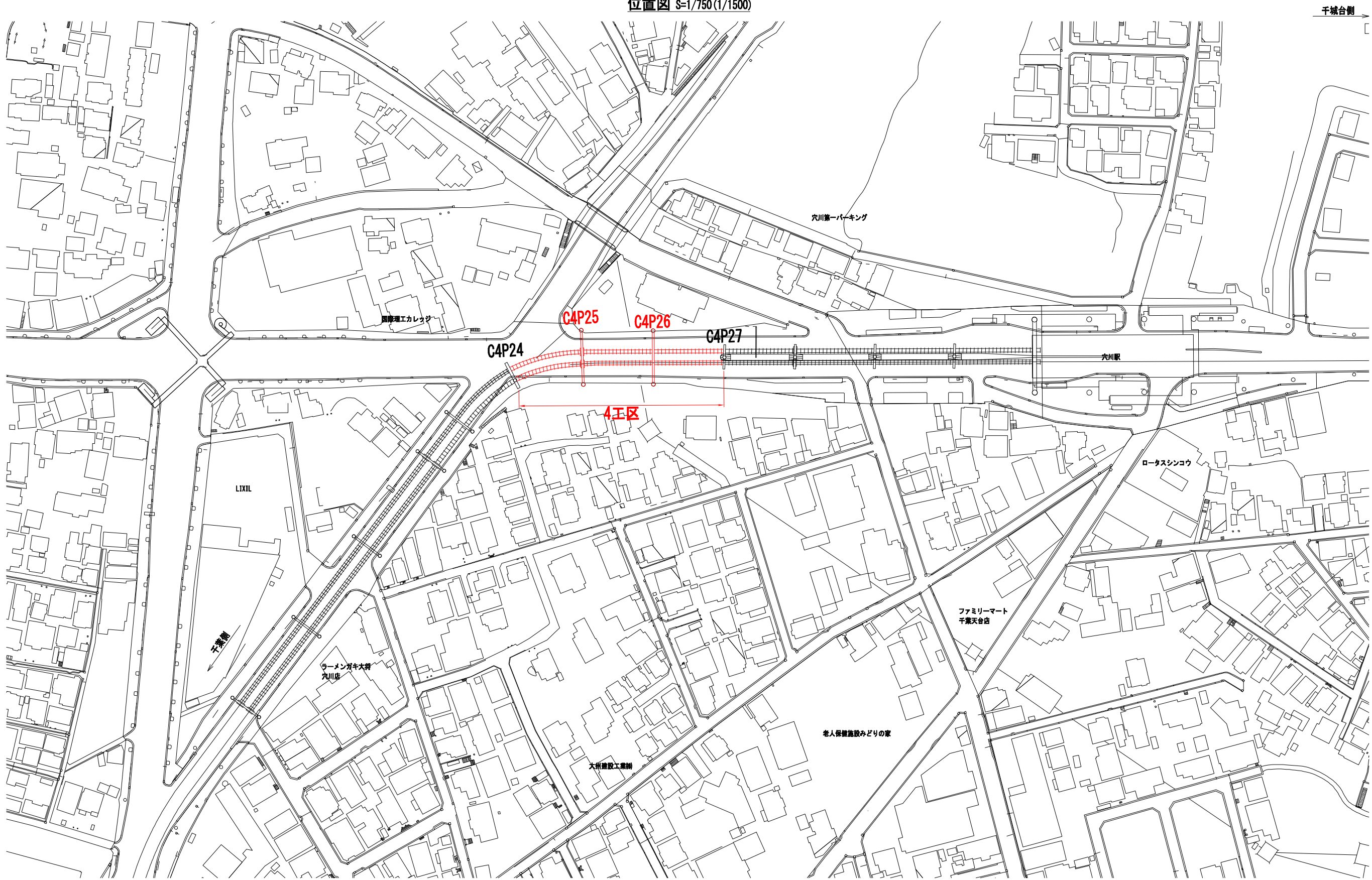


塗替塗装工事位置図
(4工区)

位置図 S=1/750(1/1500)



注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。

日 付	千葉都市モノレール株式会社				管理	調査	採集	工事名称	千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事 (4工区)	図面名称	塗替塗装工事位置図	日付	図面 番号	縮尺	1/750	図面 番号	1
								工事箇所				縮尺					

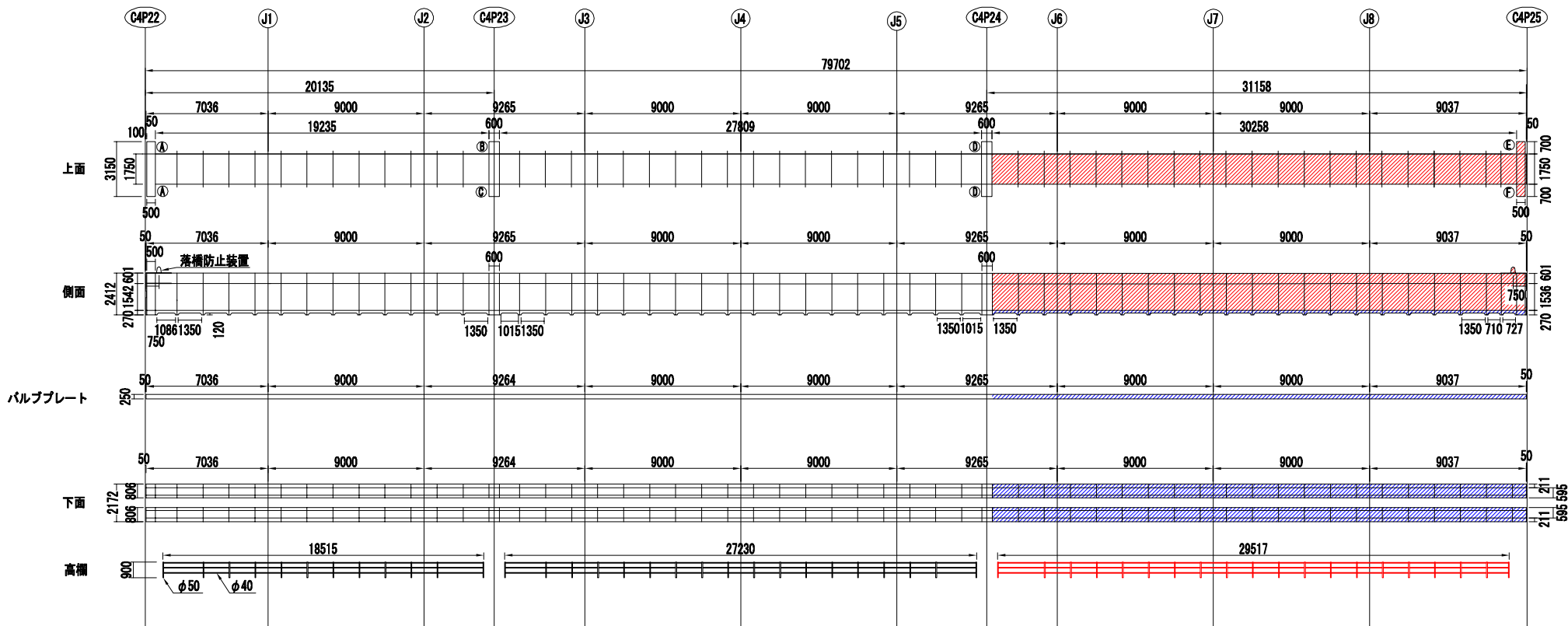
上部工塗替塗装工図-1

(軌道桁 C4G9D①)

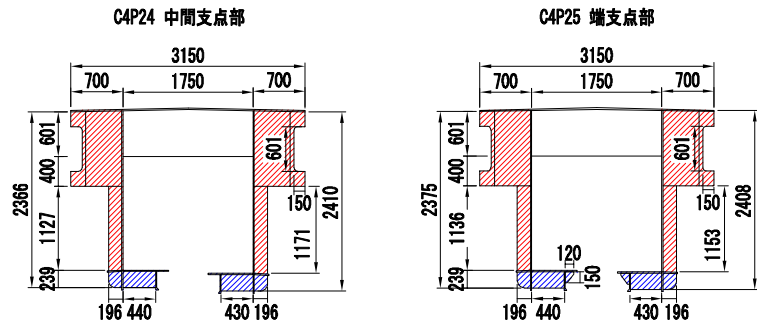
C4G9D S=1/150(1/300)

千葉側

千城台側



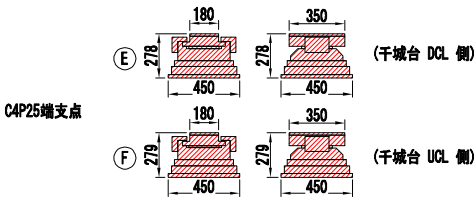
断面図 S=1/50(1/100)



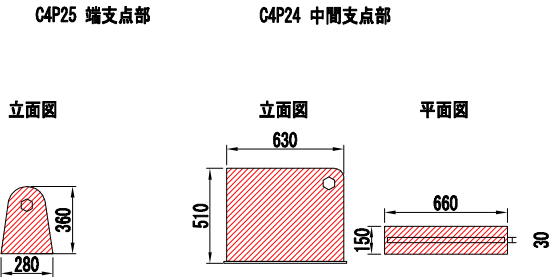
塗装仕様 (一般部)

素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間～3日	下塗1層目
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	中塗
1日～10日	上塗

支承 S=1/20(1/40)



落橋防止装置 S=1/20(1/40)



凡 例

表 示	塗 装 仕 様
[Red Hatched Box]	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場施工)
[Blue Hatched Box]	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)

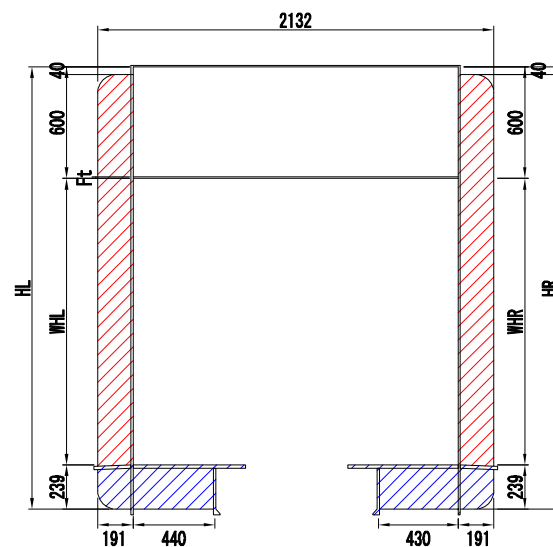
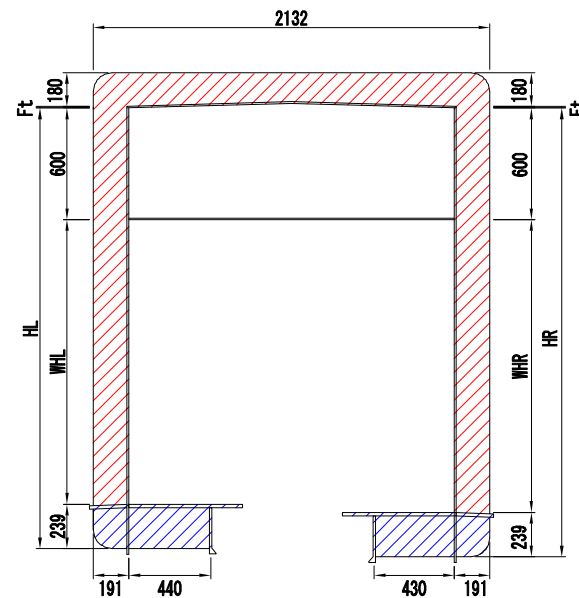
- 注記)
- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にも使用する。なお、支承、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支承全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道桁端部に設置されてある水抜き孔において、詰まりや滞水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き処理をすること。

上部工塗替塗装工図-2
(軌道桁 C4G9D②)

補剛リブ $s=1/20(1/40)$

[C2~C11, C14~C29, C39~C49]

[C1, C12, C13, C30, C31, C50]



格 点	Ft	WHL	HL	WHR	HR
C1~C8	9	1540	2410	1540	2410
C9	9	1540	2410	1541	2411
C10	9	1539	2409	1542	2412
C11	9	1539	2408	1544	2414
C12	9	1537	2407	1547	2416
C13	18	1535	2405	1550	2419
C14	9	1535	2405	1551	2421
C15	9	1534	2404	1556	2423
C16	9	1533	2403	1554	2424
C17	9	1532	2402	1556	2426
C18	9	1531	2401	1557	2427
C19	9	1530	2400	1559	2429
C20	9	1530	2400	1561	2431
C21	9	1529	2399	1562	2432
C22	9	1528	2398	1564	2434
C23	9	1527	2397	1566	2436

格 点	Ft	WHL	HL	WHR	HR
C24	9	1526	2396	1567	2437
C25~C29	9	1525	2395	1569	2439
C30	20	1525	2395	1569	2439
C31~C39	9	1525	2395	1569	2439
C40	9	1526	2396	1568	2438
C41	9	1527	2397	1567	2437
C42	9	1528	2398	1565	2435
C43	9	1528	2398	1563	2433
C44	9	1529	2399	1562	2432
C45	9	1530	2400	1560	2430
C46	9	1531	2401	1558	2428
C47	9	1532	2402	1557	2427
C48	9	1532	2402	1555	2425
C49	9	1533	2403	1553	2423
C50	16	1534	2404	1553	2423

塗装仕様（一般部）

4時間以内	素地調整	4種
3時間～3日	補修塗	素地調整軽減剤 100g/㎡、はけ、ロー
1日～10日	下塗1層目	難燃抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日	下塗2層目	難燃抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/㎡、30μ/回、はけ、ロー
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/㎡、25μ/回、はけ、ロー

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲(昼間施工・一般部・足場施工)
	塗装範囲(夜間施工・一般部・高車作業)

注記)

1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
4. 素地調整軽減剤は、銷部13%とし、銷部にのみ使用する。なお、支索、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支索全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
5. 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
6. 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
7. 軌道桁端部に設置されてある水抜き孔において、詰まりや滞水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き孔の処置をすること。

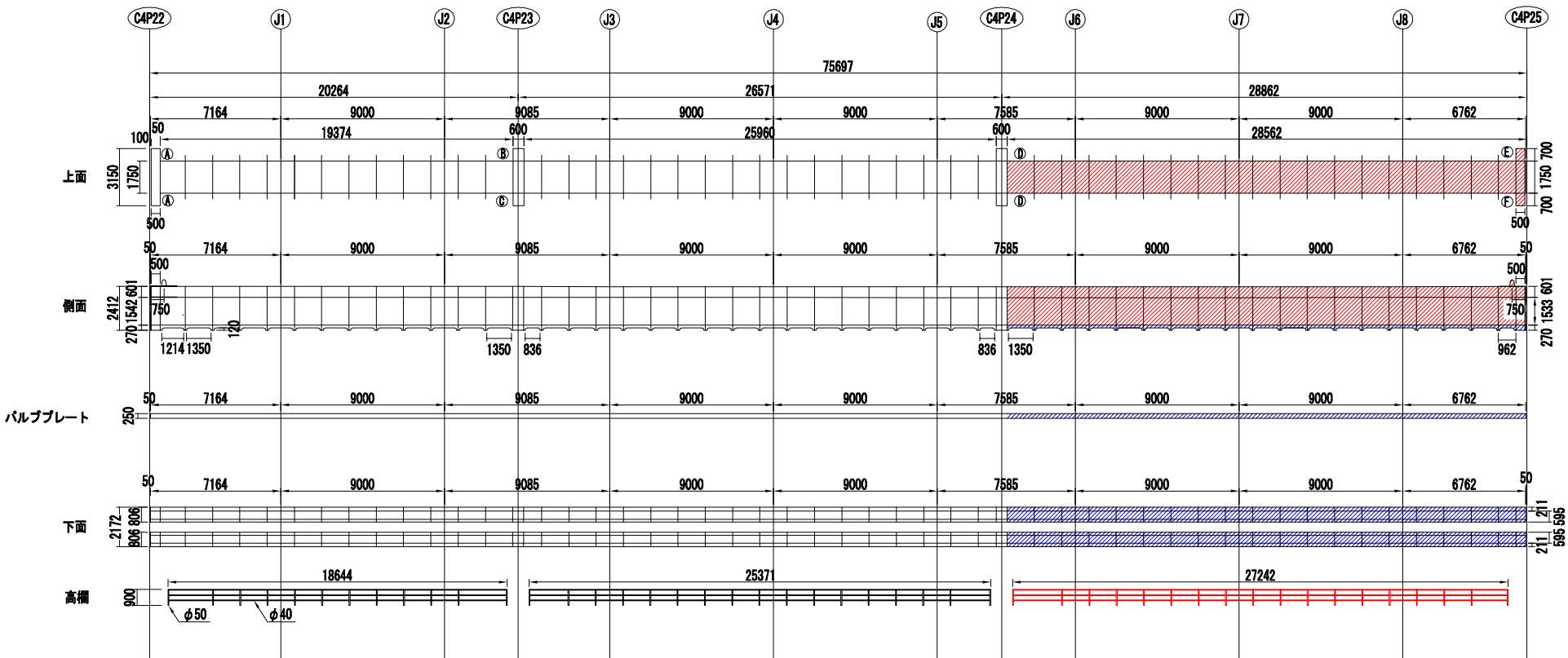
上部工塗替塗装工図-3

(軌道桁 C4G9U①)

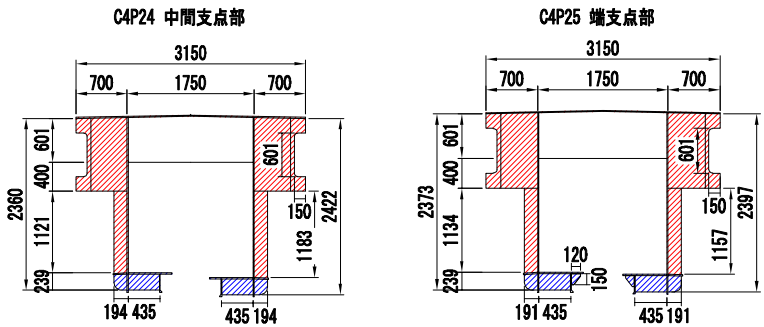
C4G9U S=1/150(1/300)

千葉側

千城台側



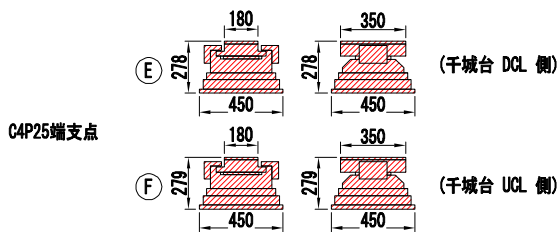
断面図 S=1/50(1/100)



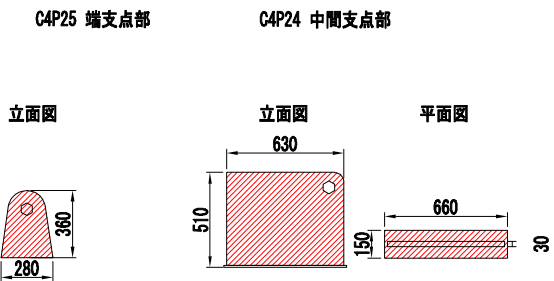
塗装仕様 (一般部)

素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間～3日	下塗1層目
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	中塗
1日～10日	上塗

支承 S=1/20(1/40)



落橋防止装置 S=1/20(1/40)



凡 例

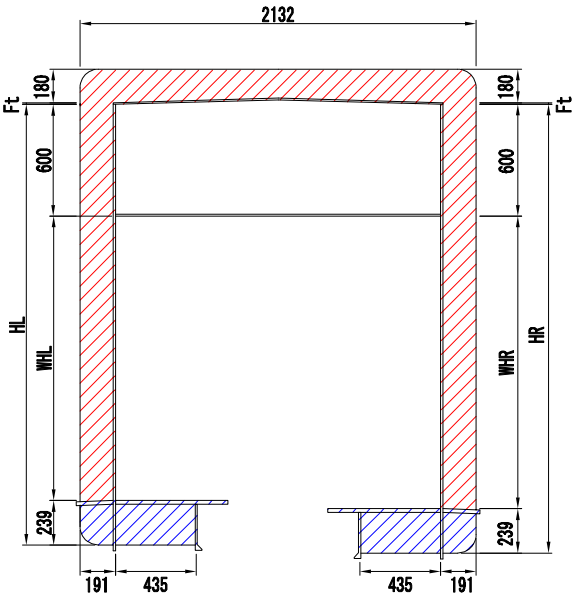
表 示	塗 装 仕 様
[Red hatched box]	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場施工)
[Blue hatched box]	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)

- 注記)
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支承、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支承全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道桁端部に設置されてある水抜き孔において、詰まりや滞水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き処理をすること。

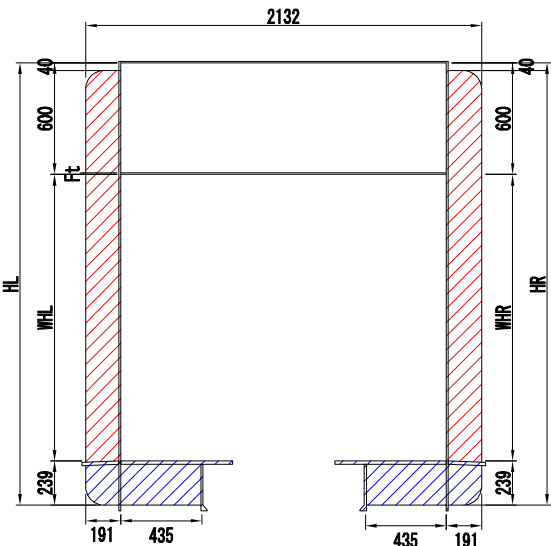
上部工塗替塗装工図-4
(軌道桁 C4G9U②)

補剛リブ s=1/20(1/40)

[C2～C11, C14～C29, C39～C49]



[C1, C12, C13, C30, C31, C50]



(mm)					
格点	Ft	WHL	HL	WHR	HR
C1～C8	9	1540	2410	1540	2410
C9	9	1540	2410	1541	2411
C10	9	1538	2408	1543	2413
C11	9	1537	2407	1546	2416
C12	9	1537	2406	1548	2418
C13	16	1534	2404	1553	2423
C14	9	1532	2402	1555	2425
C15	9	1531	2401	1558	2426
C16	9	1530	2400	1560	2430
C17	9	1529	2399	1562	2432
C18	9	1528	2398	1565	2435
C19	9	1526	2396	1567	2437
C20	9	1525	2395	1569	2439
C21	9	1524	2394	1572	2442
C22	9	1523	2393	1574	2444

(mm)					
格点	Ft	WHL	HL	WHR	HR
C23	9	1522	2392	1577	2447
C24	9	1520	2390	1579	2449
C25～C28	9	1519	2389	1581	2452
C29	18	1519	2389	1581	2451
C30～C37	9	1519	2389	1581	2451
C38	9	1520	2390	1579	2449
C39	9	1522	2392	1577	2447
C40	9	1523	2393	1574	2444
C41	9	1524	2394	1572	2442
C42	9	1525	2395	1570	2440
C43	9	1526	2396	1567	2437
C44	9	1528	2398	1565	2435
C45	9	1529	2399	1563	2433
C46	9	1530	2400	1560	2430
C47	9	1531	2401	1558	2428

塗装仕様（一般部）

4時間以内	素地調整	4種
	補修塗	素地調整軽減剤 100g/㎡、はけ、ロー
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/㎡、30μ/回、はけ、ロー
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/㎡、25μ/回、はけ、ロー

凡例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場施工）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）

- 注記）
- （ ）内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支承、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支承全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道桁端部に設置されてある水抜き孔において、詰まりや滞水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き孔の処置をすること。

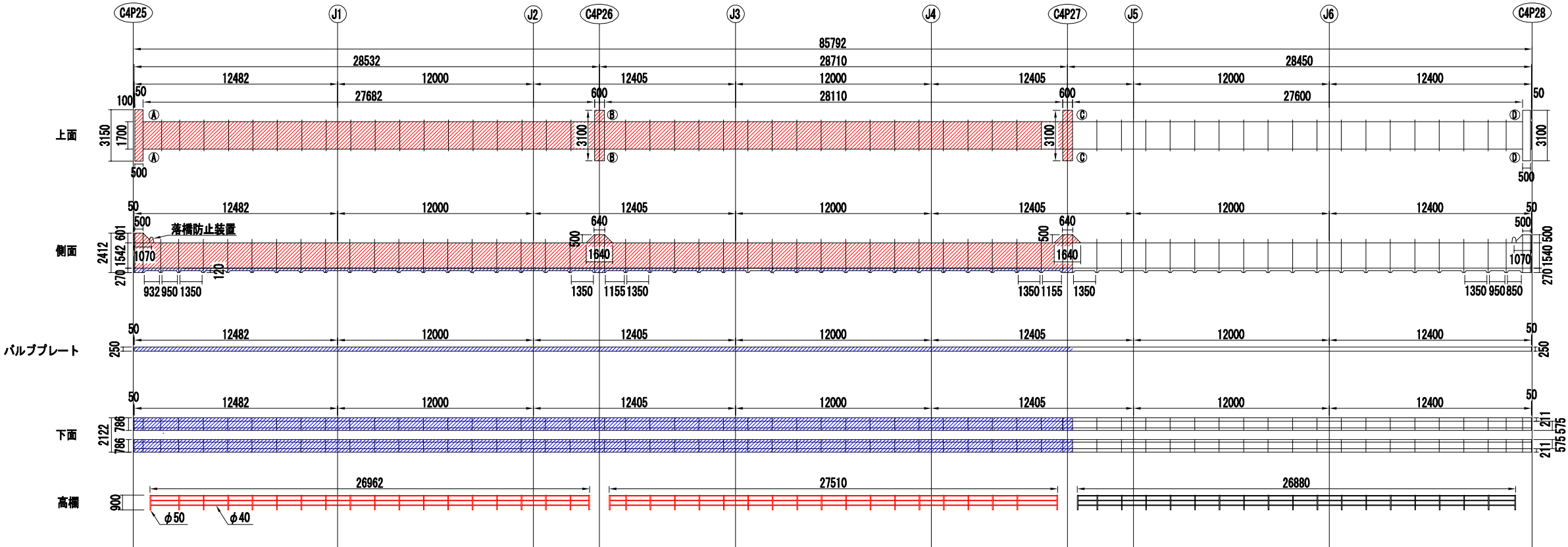
上部工塗替塗装工図-5

(軌道桁 C4G10D)

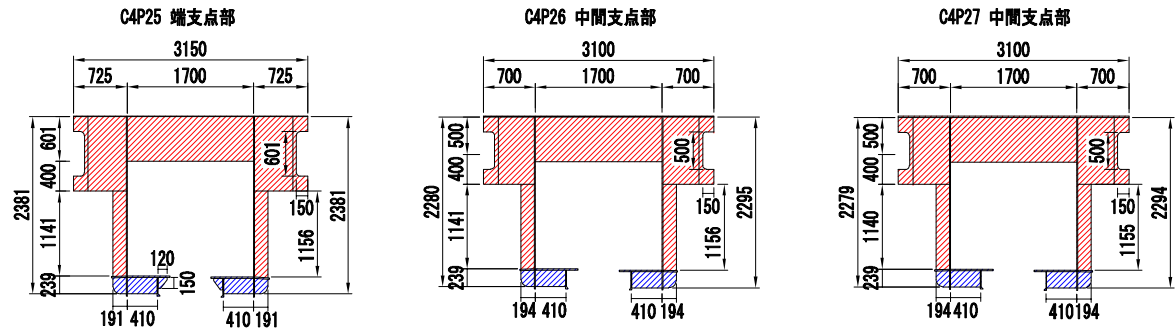
C4G10D S=1/150 (1/300)

千葉側

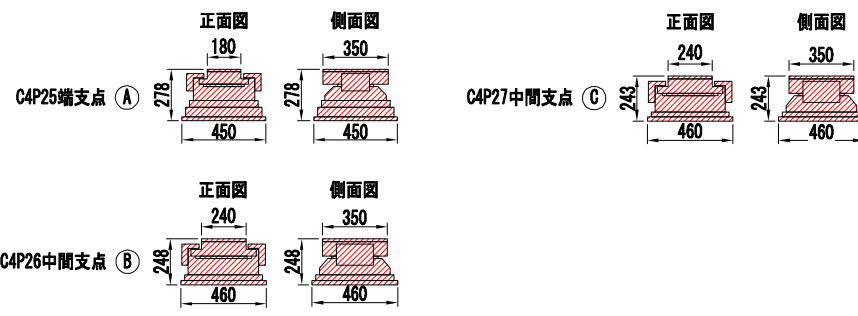
千城台側



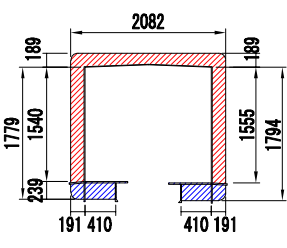
断面図 S=1/50 (1/100)



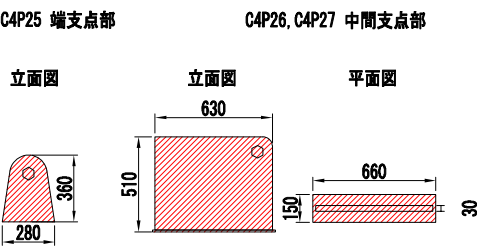
支承 S=1/20 (1/40)



補剛リブ S=1/50 (1/100)



落橋防止装置 S=1/20 (1/40)



塗装仕様 (一般部)

素地調整	4種
4時間以内	
補修塗	素地調整軽減剤
3時間～3日	100g/㎡、はけ、ローラー
下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
1日～10日	200g/㎡、60μ/回、はけ、ローラー
下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色)
1日～10日	200g/㎡、60μ/回、はけ、ローラー
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)
1日～10日	140g/㎡、30μ/回、はけ、ローラー
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)
1日～10日	120g/㎡、25μ/回、はけ、ローラー

凡 例

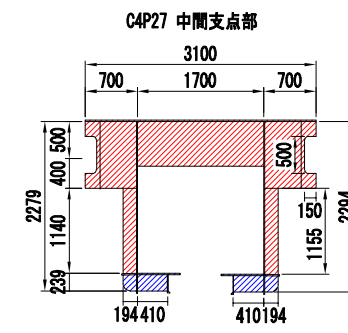
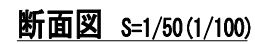
表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場施工)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)

- 注記)
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部のみ使用する。なお、支承、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支承全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道桁端部に設置されてある水抜き孔において、詰まりや滞水が確認されていた場合は、番線等にて水抜きを処置すること。

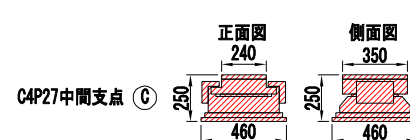
(軌道桁 C4G10U)

千葉側

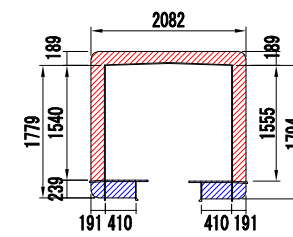
干城台側



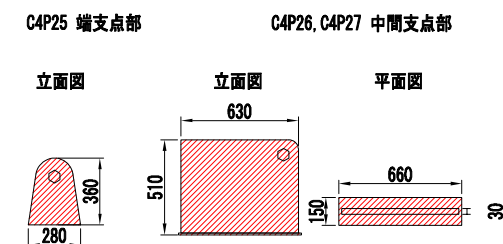
支承 $S=1/20(1/40)$



補剛リブ $S=1/50(1/100)$



落橋防止装置 $S=1/20(1/40)$



塗装仕様（一般部）

4時間以内	素地調整	4種
3時間～3日	補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、ロー
	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、ロー
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、ロー

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲(昼間施工・一般部・足場施工)
	塗装範囲(夜間施工・一般部・高車作業)

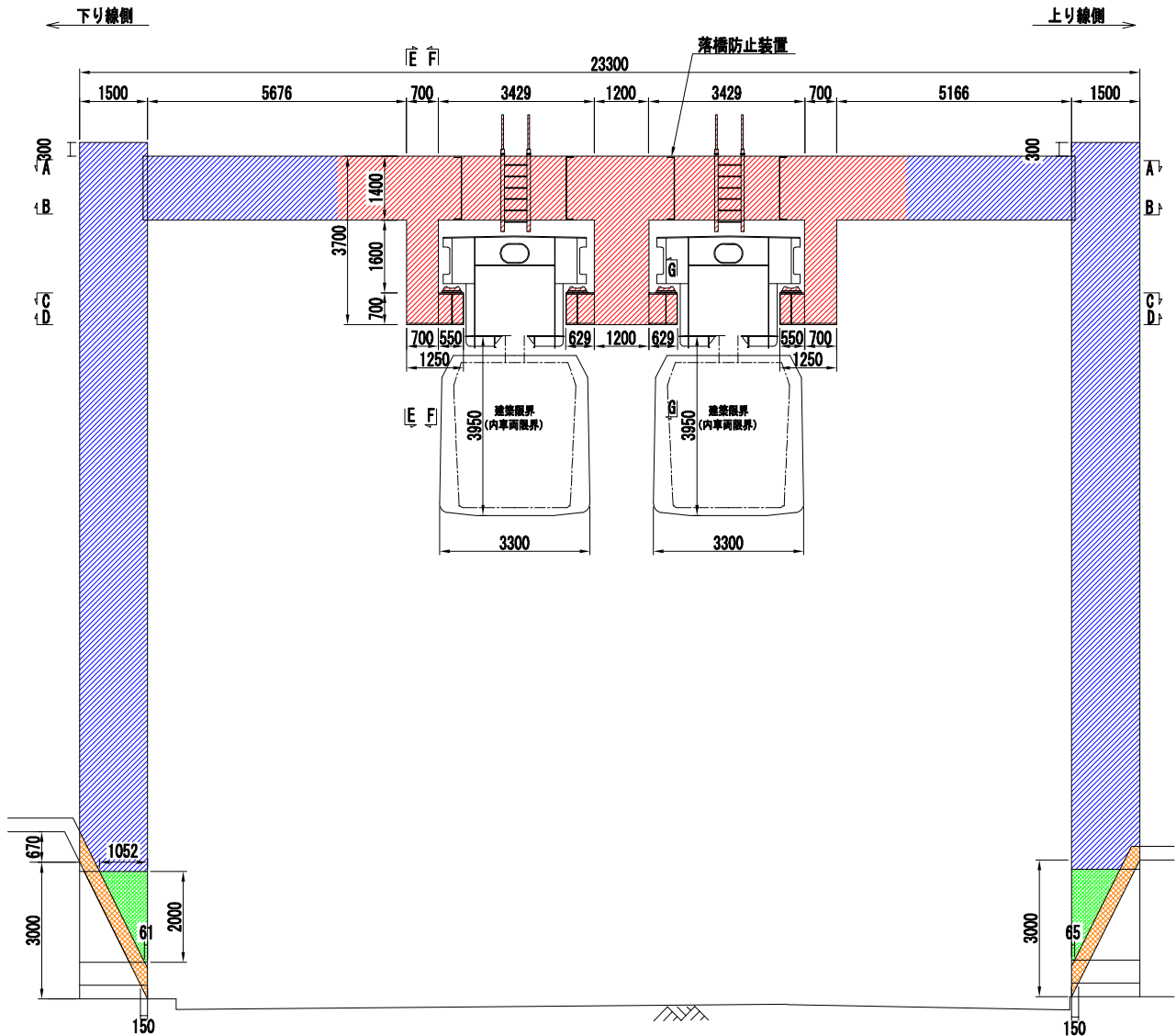
注記)

1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
3. 現地の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
4. 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支索、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支索全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
5. 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載すること。
6. 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
7. 軌道桁端部に設置されてある水抜き孔において、詰まりや滞水が確認されていた場合は、管線等に水抜き孔の処置を行うこと。

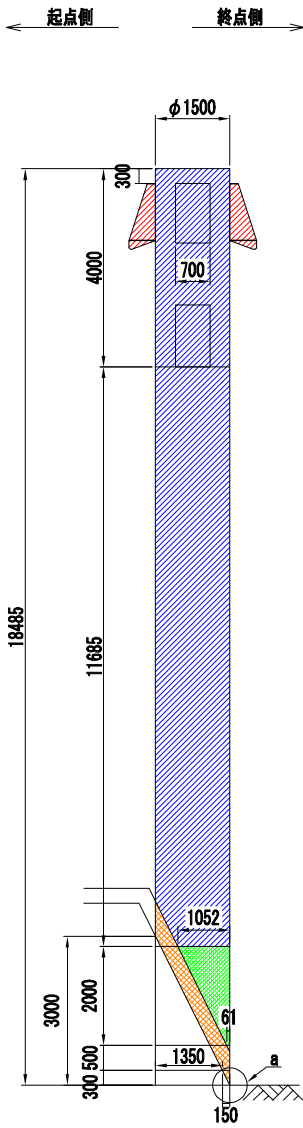
下部工塗替塗装工図-1

(支柱 C4P25①)

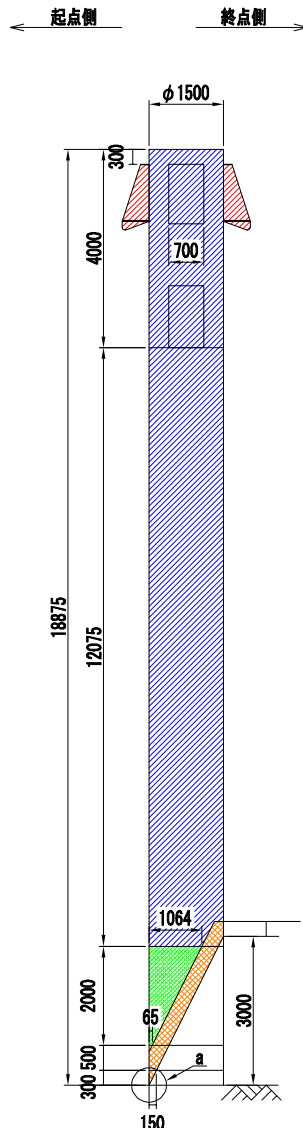
正面図 S=1/75 (1/150)



側面図(下り線側) S=1/75 (1/150)



側面図(上り線側) S=1/75 (1/150)



塗装仕様 (一般部)

素地調整	4種
補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、ローラー
下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ローラー
下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ローラー
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白) 140g/m ² 、30μ/回、はけ、ローラー
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、25μ/回、はけ、ローラー

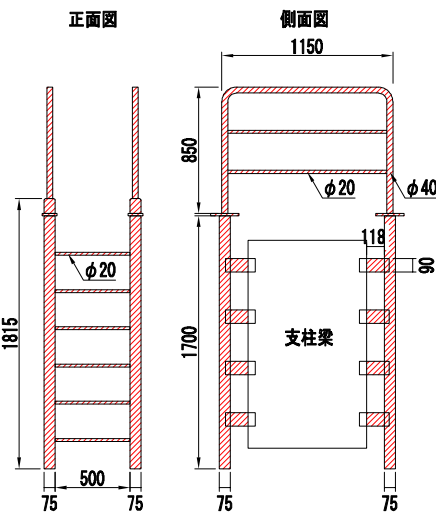
塗装仕様 (落書き防止)

素地調整	4種
補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、ローラー
下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ローラー
下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ローラー
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白) 140g/m ² 、30μ/回、はけ、ローラー
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、25μ/回、はけ、ローラー
クリヤー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリヤー 80g/m ² 、15μ/回、はけ、ローラー

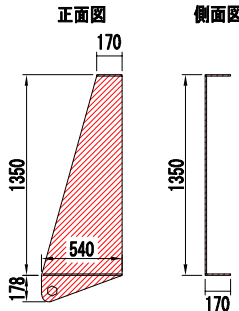
塗装仕様 (基部)

素地調整	4種
補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、ローラー
パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ 300g/m (鋼/コンクリート接合部のみ)
下塗	速乾型厚膜形エポキシ樹脂塗料 1000g/m ² 、はけ、ローラー
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、はけ、ローラー

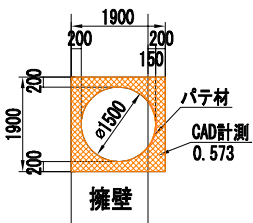
支柱乗越え梯子 S=1/25 (1/50)



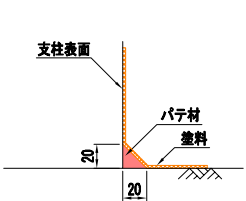
落橋防止装置 S=1/25 (1/50)



支柱基部 平面図 S=1/75 (1/150)



a部詳細図 S=1/2.5 (1/5)



注記)

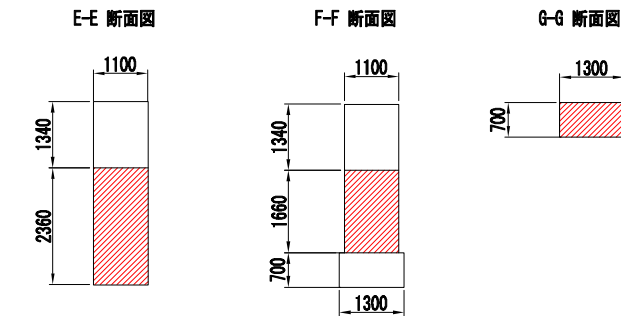
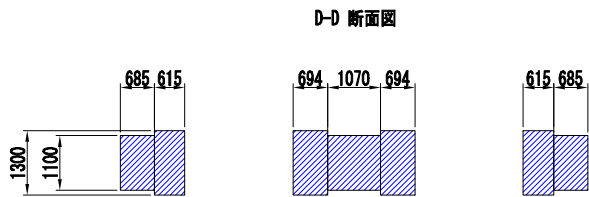
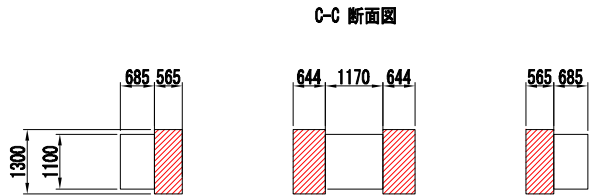
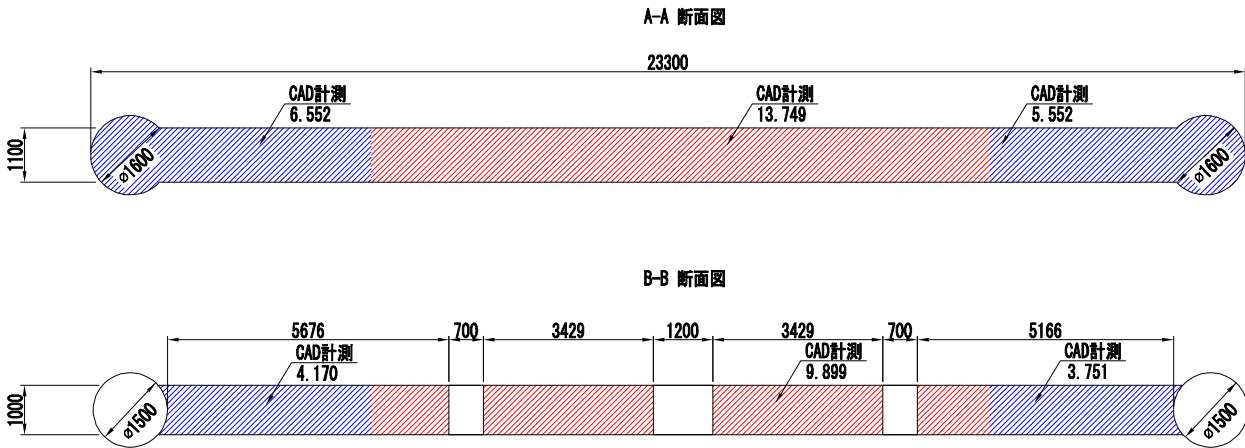
- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地に於て計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調整軽減剤は、錆色13%とし、錆部にのみ使用する。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 支柱に貼付されている番号表示、標識類等について、塗装後に新しいものを貼付すること。
- 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - 中央分離帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道桁・支柱と同色)
 - 歩道部・擁壁部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承諾が必要)

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

下部工塗替塗装工図-2
(支柱 C4P25②)

断面図 S=1/75 (1/150)



塗装仕様（一般部）

素地調整	4種
4時間以内	
補修塗	素地調整軽減剤 100g/㎡、はけ、ローラー
3時間～3日	
下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/㎡、30μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/㎡、25μ/回、はけ、ローラー

塗装仕様（落書き防止）

素地調整	4種
4時間以内	
補修塗	素地調整軽減剤 100g/㎡、はけ、ローラー
3時間～3日	
下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/㎡、30μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/㎡、25μ/回、はけ、ローラー
2日～7日	
クリアー	特殊シリコーン変性ふっ素樹脂クリアー 80g/㎡、15μ/回、はけ、ローラー

塗装仕様（基部）

素地調整	4種
4時間以内	
補修塗	素地調整軽減剤 100g/㎡、はけ、ローラー
3時間～3日	
パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ 300g/m（鋼/コンクリート接合部のみ）
直ちに～7日	
下塗	速乾型厚膜形エポキシ樹脂塗料 1000g/㎡、はけ、ローラー
3時間～7日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/㎡、はけ、ローラー

- 注記）
- （ ）内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 支柱に貼付されている番号表示、標識類等について、塗装後に新しいものを貼付すること。
 - 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - ・中央分離帯：3.8Y 7.5/1（軌道桁・支柱と同色）
 - ・歩道部・擁壁部：色見本にて現地合せした類似色（監督員の承諾が必要）

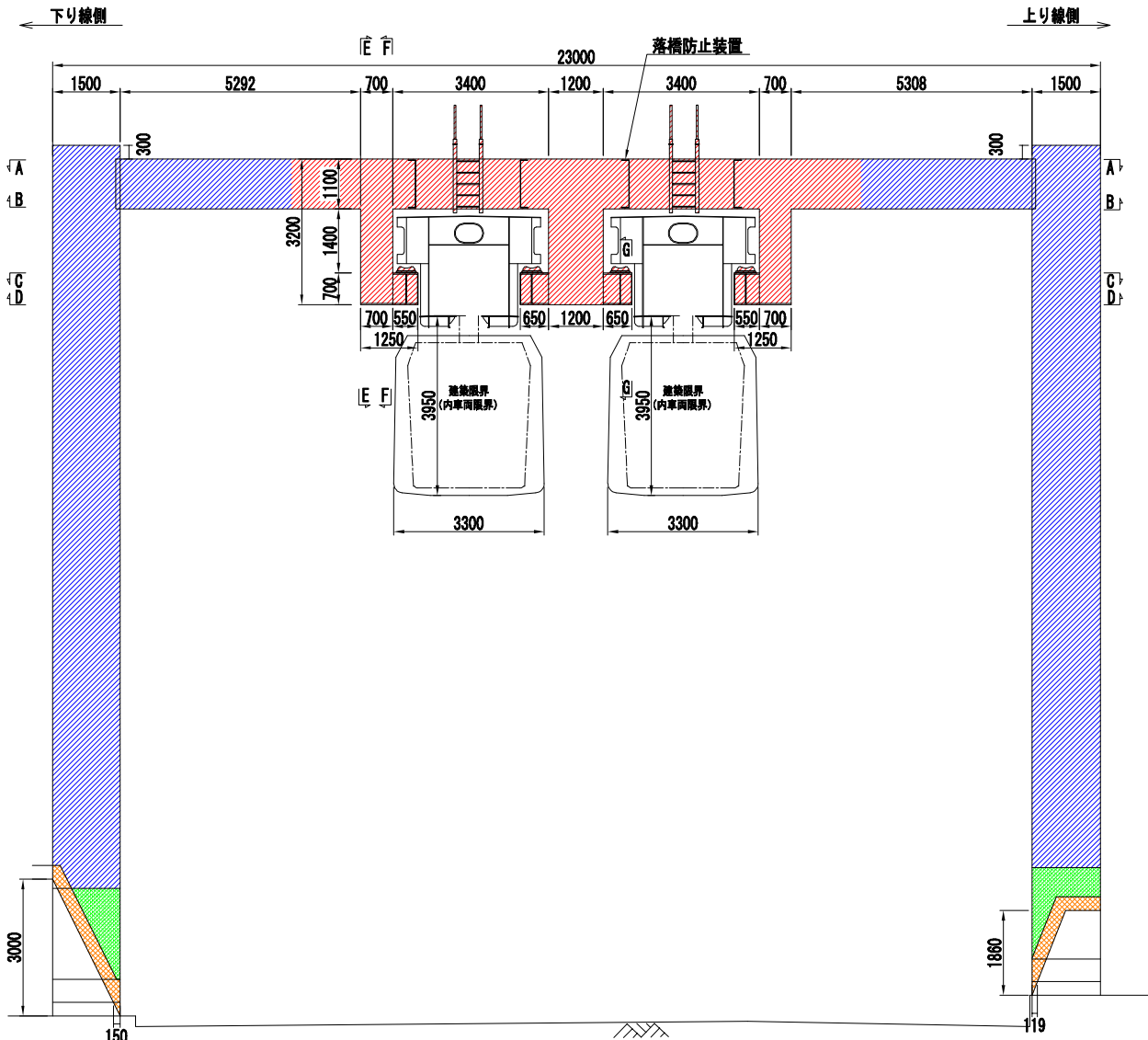
凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場作業）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）
	塗装範囲（夜間施工・落書き防止・高車作業）
	塗装範囲（昼間施工・基部・地上作業）

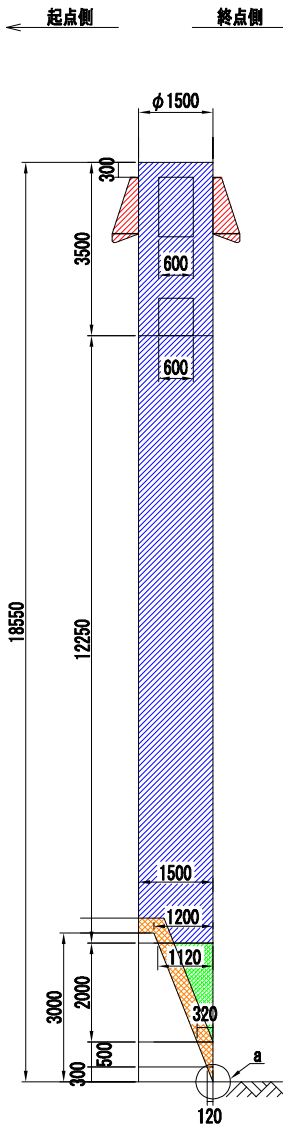
下部工塗替塗装工図-3

(支柱 C4P26①)

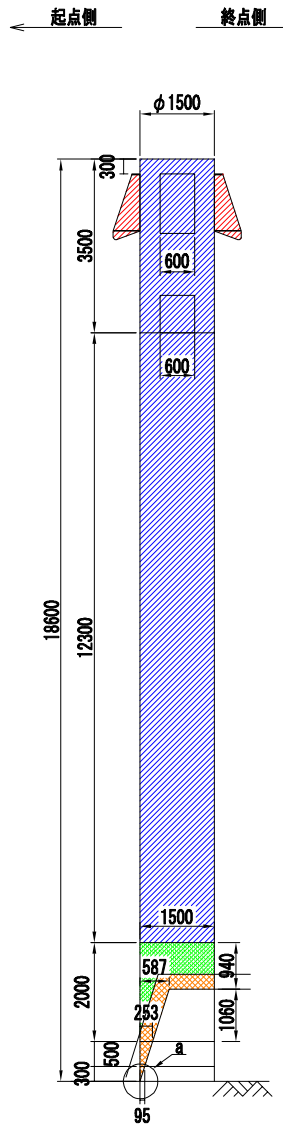
正面図 S=1/75 (1/150)



側面図(下り線側) S=1/75 (1/150)



側面図(上り線側) S=1/75 (1/150)



塗装仕様 (一般部)

素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間～3日	下塗1層目
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	中塗
1日～10日	上塗

塗装仕様 (落書き防止)

素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間～3日	下塗1層目
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	中塗
1日～10日	上塗
2日～7日	クリアー

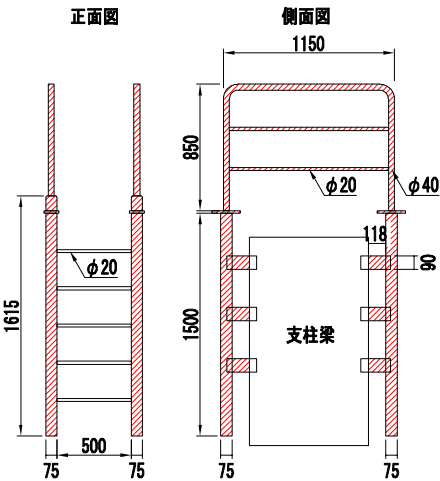
塗装仕様 (基部)

素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間～3日	パテ処理
直ちに～7日	下塗
3時間～7日	上塗

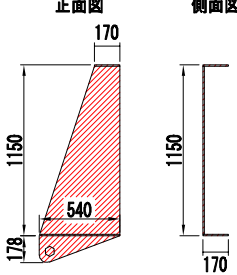
凡 例

表 示	塗 装 仕 様
[Red hatched]	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
[Blue hatched]	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
[Green hatched]	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
[Orange hatched]	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

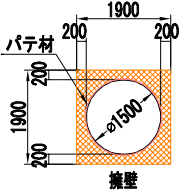
支柱乗越え梯子 S=1/25 (1/50)



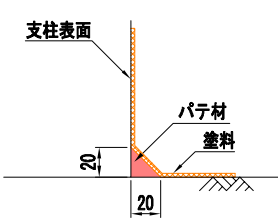
落橋防止装置 S=1/25 (1/50)



支柱基部 平面図 S=1/75 (1/150)



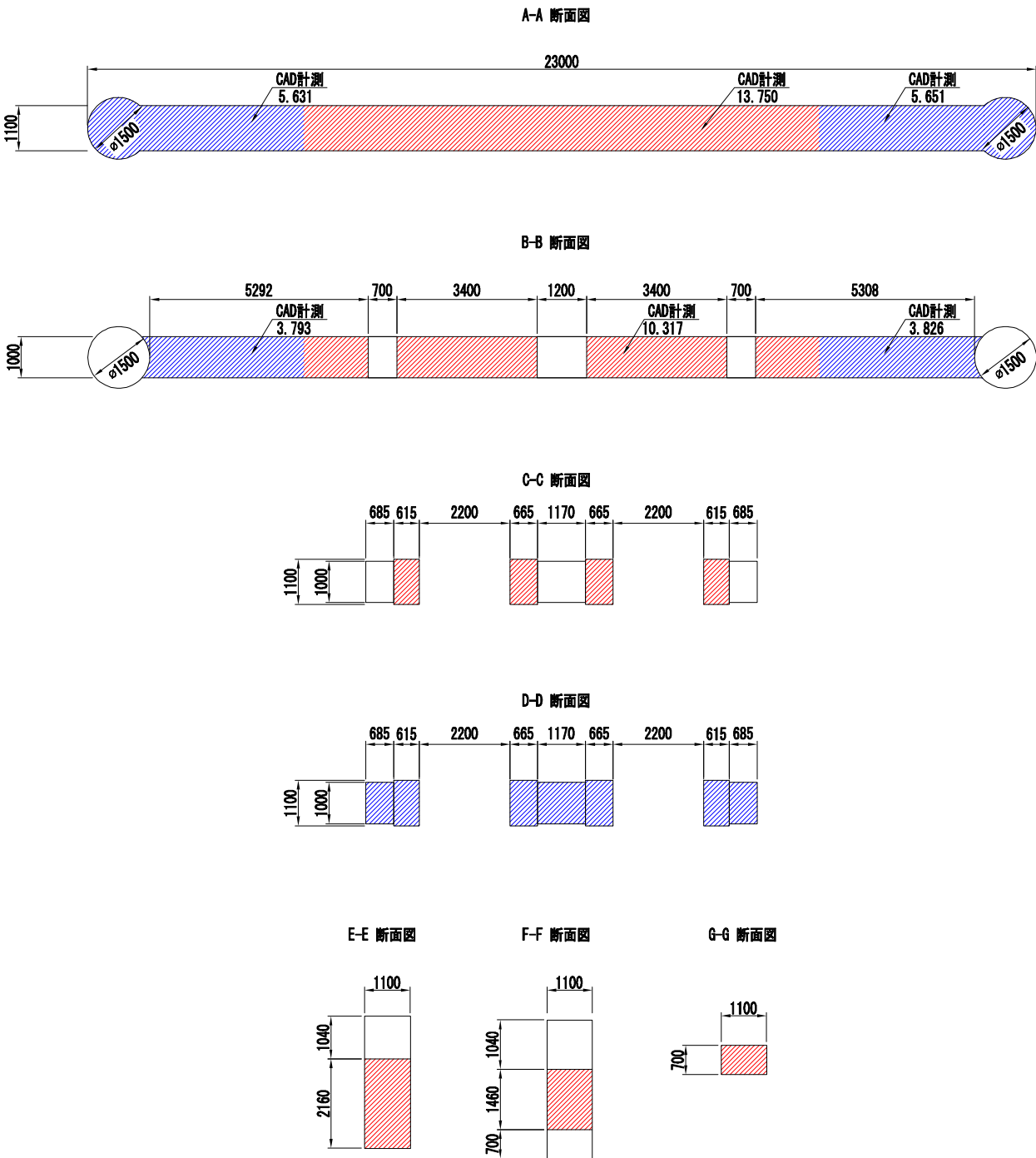
a部詳細図 S=1/2.5 (1/5)



- 注記)
- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部のみ使用する。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 支柱に貼付されている番号表示、標識類等について、塗装後に新しいものを貼付すること。
 - 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - 中央分離帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道桁・支柱と同色)
 - 歩道部・擁壁部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承諾が必要)

下部工塗替塗装工図-4
(支柱 C4P26②)

断面図 S=1/75 (1/150)



塗装仕様（一般部）

素地調整	4種
4時間以内	
補修塗	素地調整軽減剤 100g/㎡、はけ、ローラー
3時間～3日	
下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/㎡、30μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/㎡、25μ/回、はけ、ローラー

塗装仕様（落書き防止）

素地調整	4種
4時間以内	
補修塗	素地調整軽減剤 100g/㎡、はけ、ローラー
3時間～3日	
下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/㎡、30μ/回、はけ、ローラー
1日～10日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/㎡、25μ/回、はけ、ローラー
2日～7日	
クリアー	特殊シリコーン変性ふっ素樹脂クリアー 80g/㎡、15μ/回、はけ、ローラー

塗装仕様（基部）

素地調整	4種
4時間以内	
補修塗	素地調整軽減剤 100g/㎡、はけ、ローラー
3時間～3日	
パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ 300g/m（鋼/コンクリート接合部のみ）
直ちに～7日	
下塗	速乾型厚膜形エポキシ樹脂塗料 1000g/㎡、はけ、ローラー
3時間～7日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/㎡、はけ、ローラー

- 注記）
- （ ）内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部のみ使用する。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 支柱に貼付されている番号表示、標識類等について、塗装後に新しいものを貼付すること。
 - 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - 中央分離帯：3.8Y 7.5/1（軌道桁・支柱と同色）
 - 歩道部・擁壁部：色見本にて現地合せした類似色（監督員の承諾が必要）

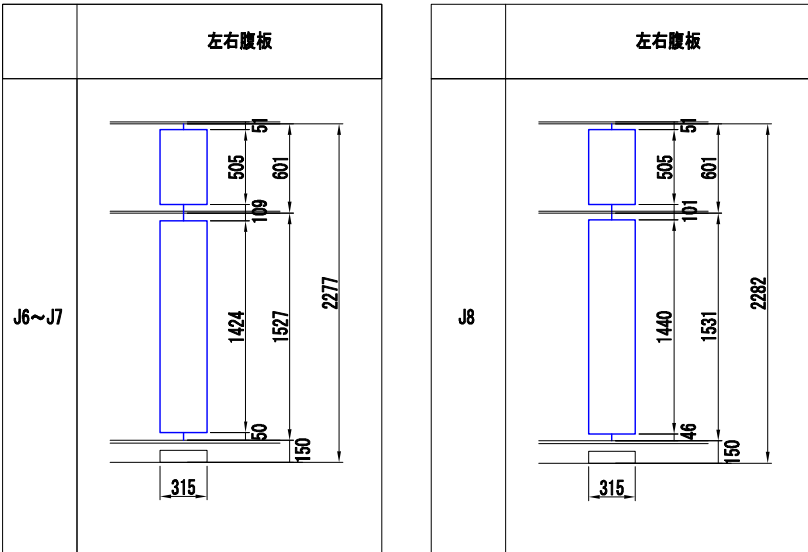
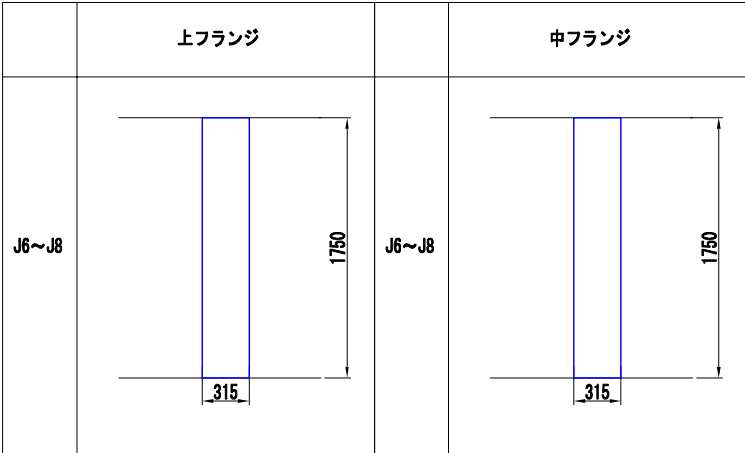
凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場作業）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）
	塗装範囲（夜間施工・落書き防止・高車作業）
	塗装範囲（昼間施工・基部・地上作業）

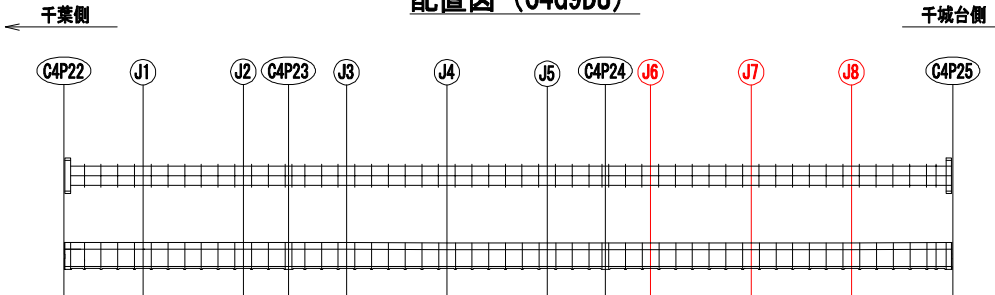
シーリング補修工図-1

(軌道桁 添接板)

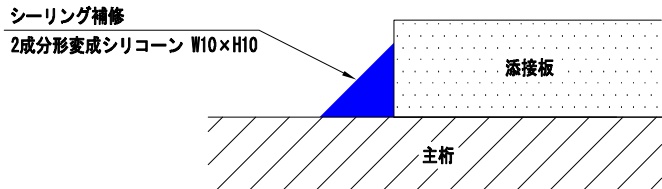
添接板 (C4G9DU) s=1/25(1/50)



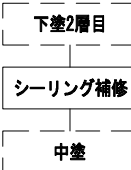
配置図 (C4G9DU)



シーリング補修 詳細図



施工フロー



凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	シーリング補修 (2成分形変成シリコーン W10×H10)

注册

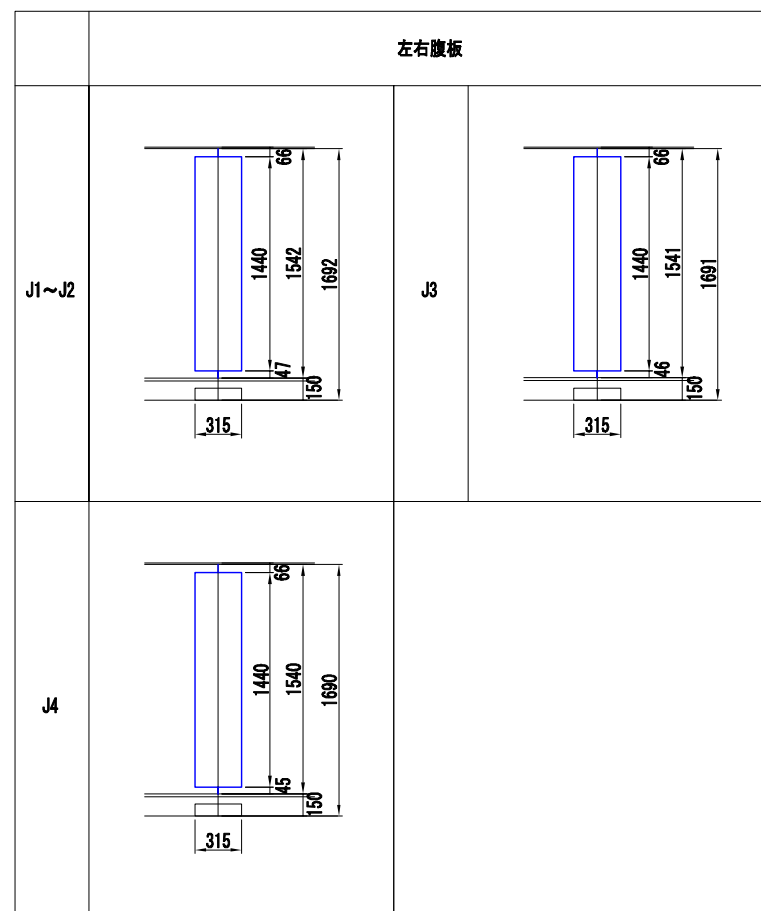
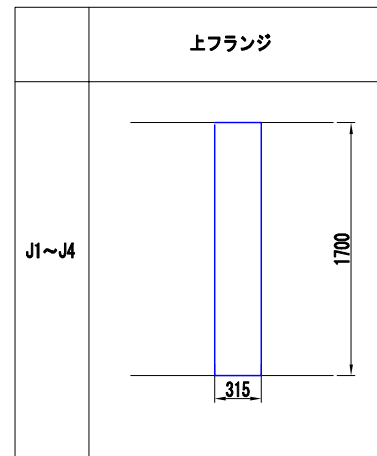
1. 0内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 施工にあたっては、現地に於いて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、
現場状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。

会社		管理	調査	提案	工事名称	千葉県市モノレールインフラ部建築塗装工事 (4工区)	図面名称	シーリング補修工図-1	日付	竣工 番号	
					工事箇所				概尺	1/25	竣工 年次

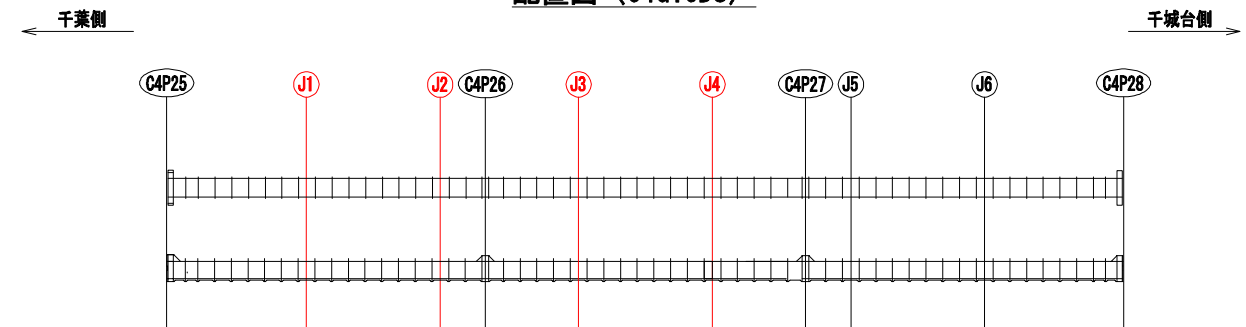
シーリング補修工図-2

(添接板 C4G10DU)

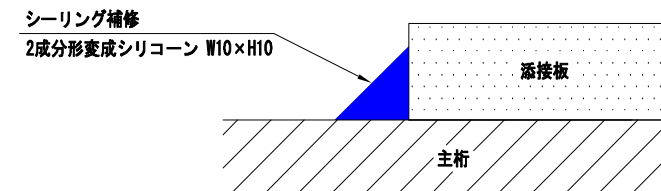
添接板 (C4G10DU) s=1/25 (1/50)



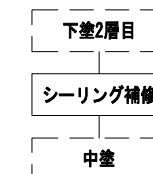
配置図 (C4G10DU)



シーリング補修 詳細図



施工フロー



凡 例

表 示	塗 装 仕 様
—	シーリング補修 (2成分形変成シリコーン W10×H10)

注記)

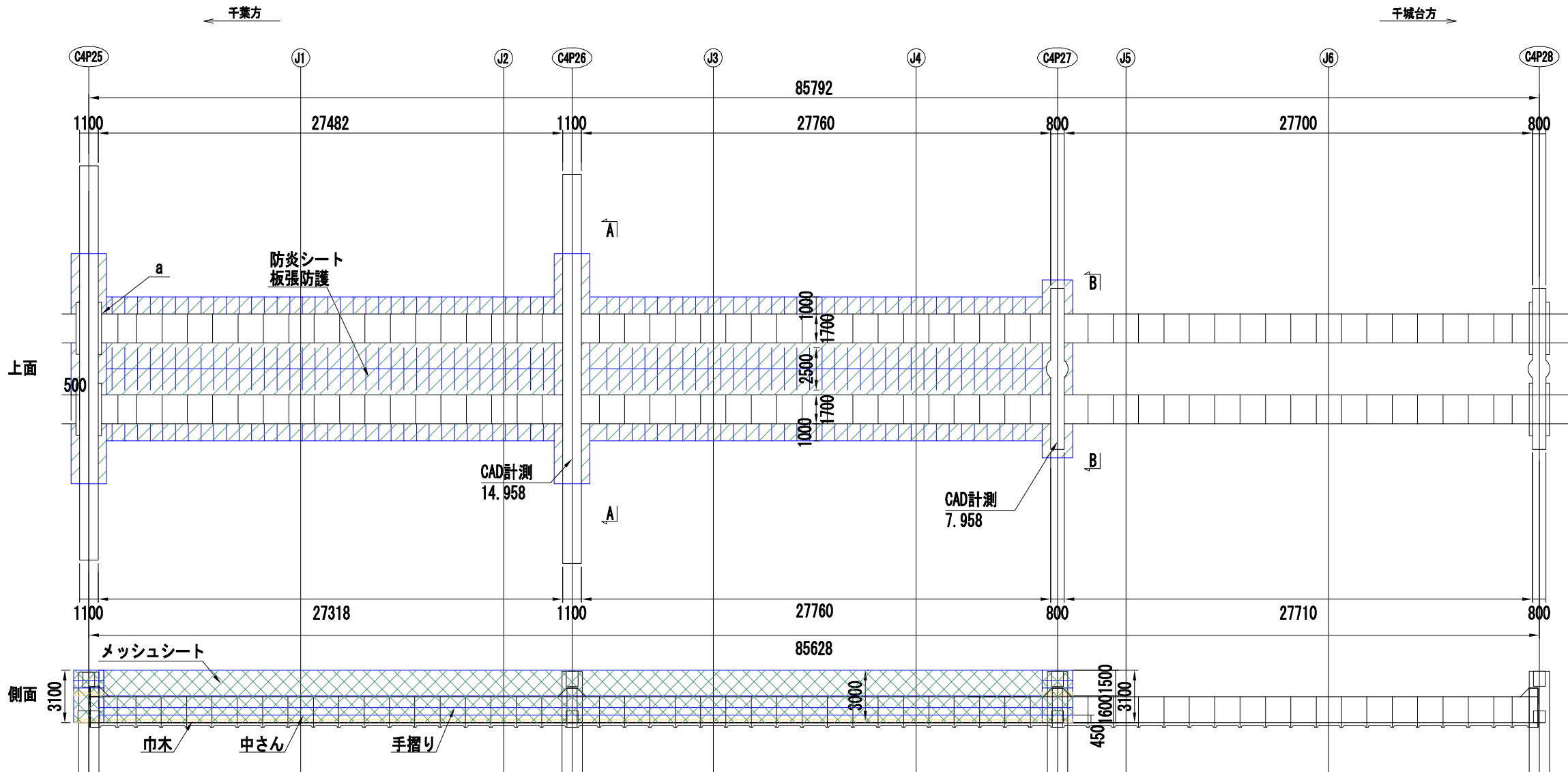
1. 〇内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。

日 付		千葉都市モノレール株式会社	管理	調査	測量	工事名称	千葉都市モノレールインフラ部管装工事 (4工区)	図面名称	足場仮設計画図-1	日付		図面 番号	
						工事場所				縮尺	図示	縮尺 番号	参考図-1

足場仮設計画図-2

(軌道桁 C4G10DU)

C4G10DU S=1/150 (1/300)

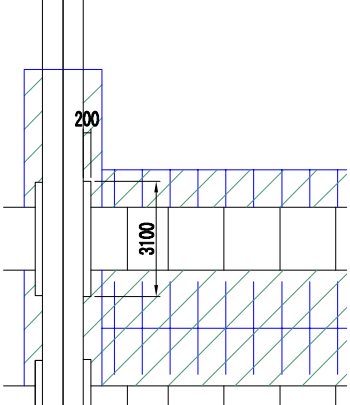
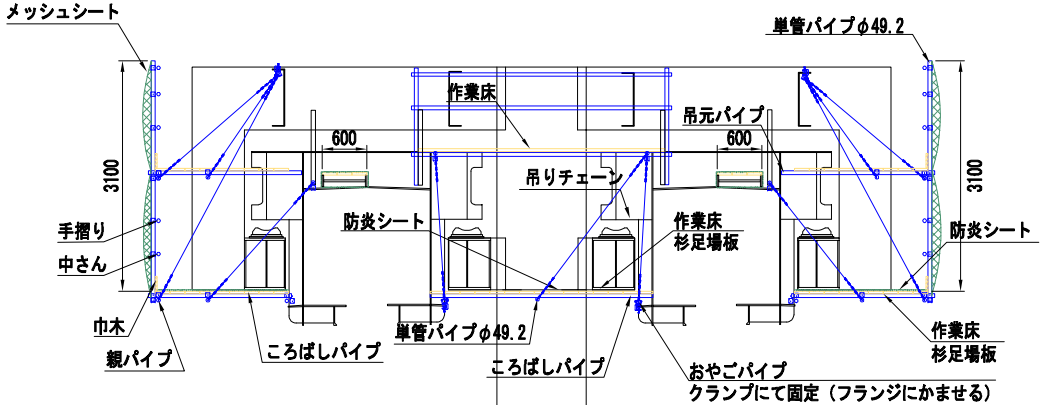
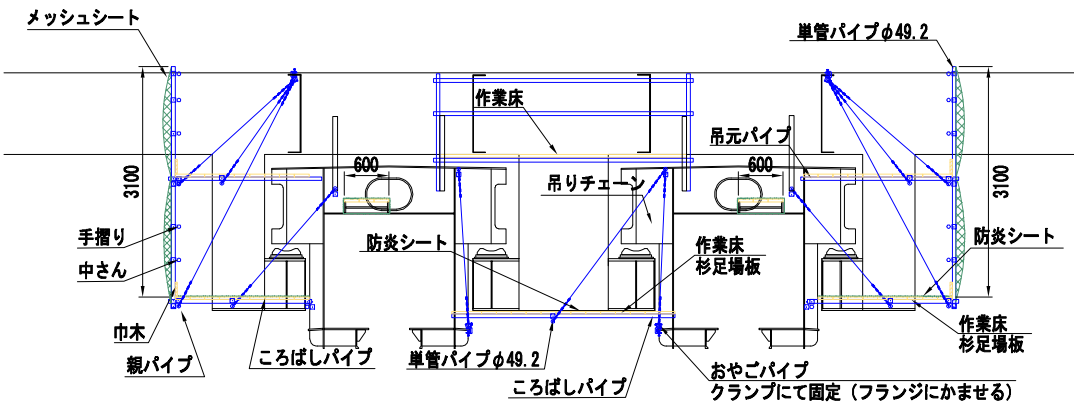


断面図 S=1/50 (1/100)

a部詳細図 S=1/100 (1/200)

A-A 断面図

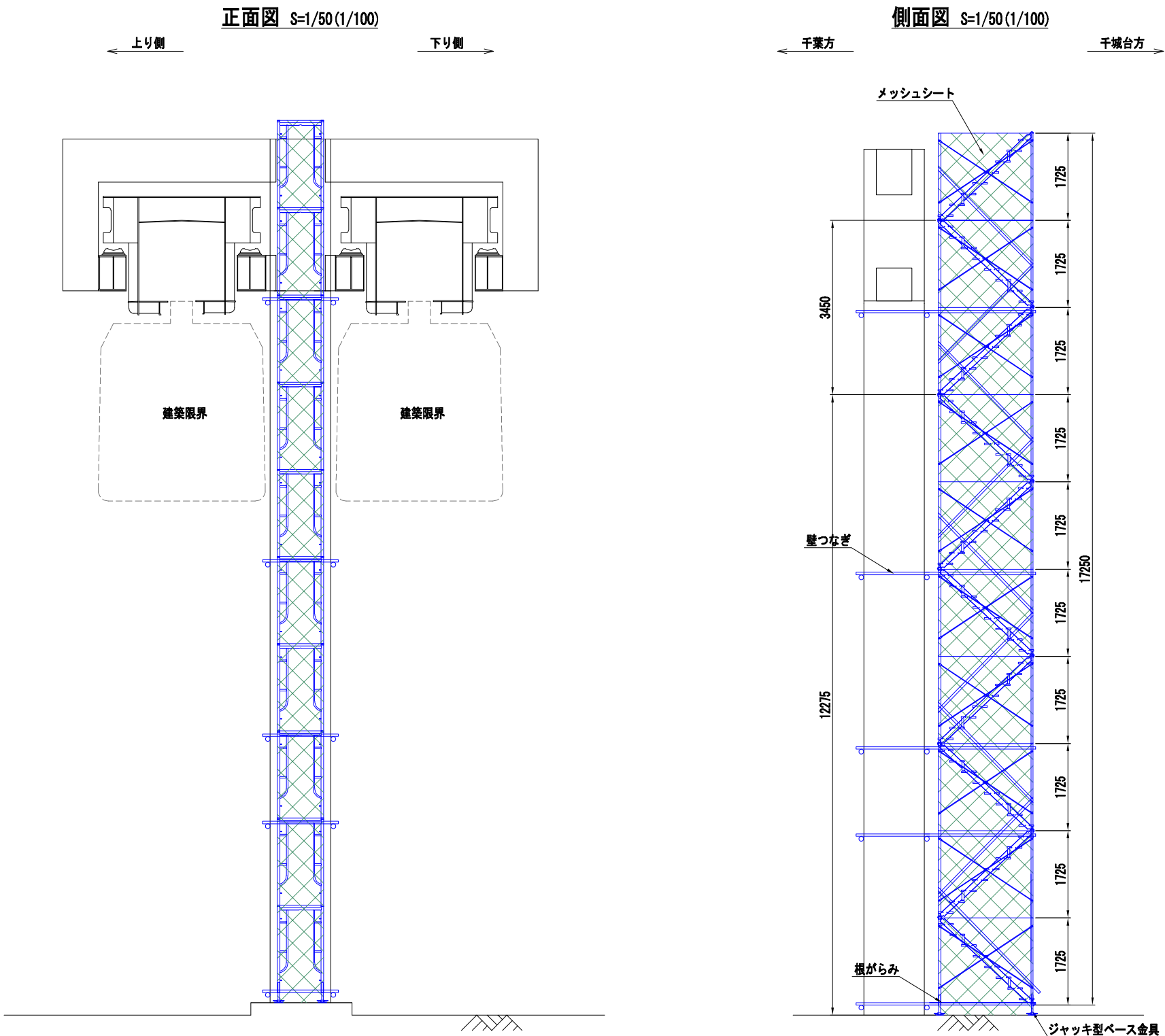
B-B 断面図



- 注記)
- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 受注者は、足場仮設計画図を参考とするとともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、足場構造、施工方法、及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

目 次				千葉都市モノレール株式会社		管理	開発	経理	工事名称	千葉都市モノレールインフラ部整備建設工事 (4工区)	図面名称	足場仮設計画図-2	日付	整理 番号	参考図-2	
									工事箇所				備考	図示		図面 番号

足場仮設計画図-3
(支柱 C4P27)

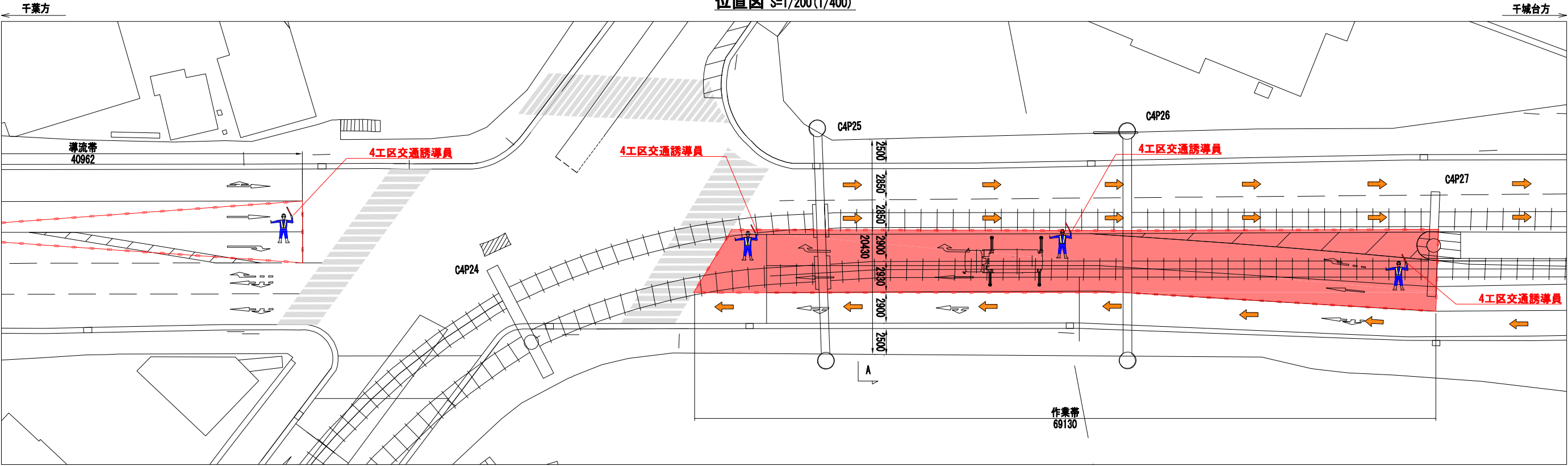


注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、足場仮設計画図を参考とするとともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、足場構造、施工方法、及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
3. 足場は、建築限界に支障しない範囲で仮設すること。

目次	千葉都市モノレール株式会社			管理	調査	設計	工事名称	千葉都市モノレールインフラ部設備整備工事 (4工区)	図面名称	足場仮設計画図-3	日付	図示	参照	参考図-3
							工事箇所				縮尺			

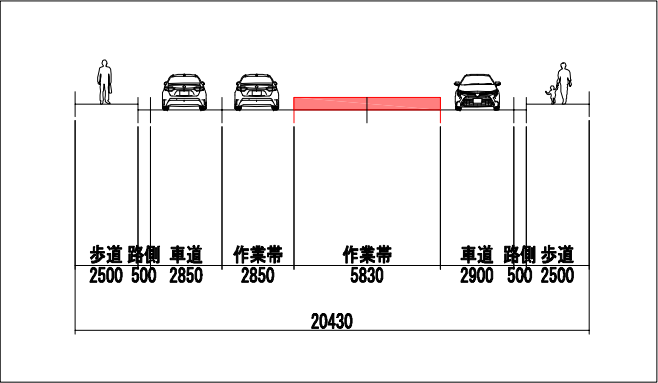
交通規制図①<参考図>
(4工区)

位置図 S=1/200(1/400)



断面図 S=1/150(1/300)

A-A



<凡例>

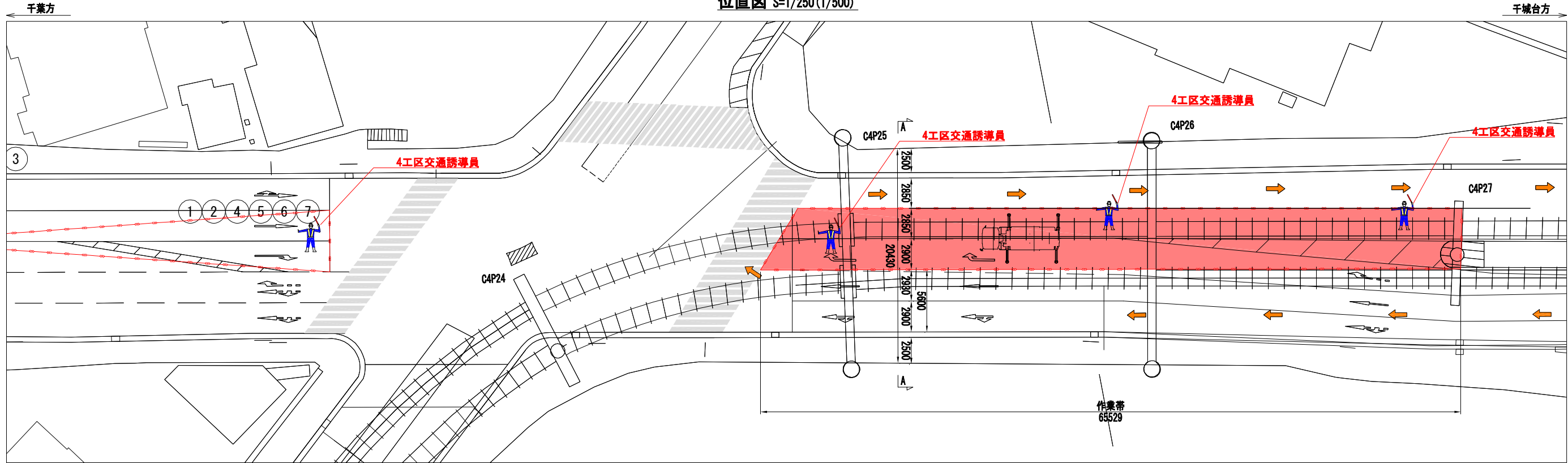
①	工事中表示板
②	工事件名表示板
③	工事予告表示板 50, 100, 200
④	矢印板
⑤	速度落とせ標識板
⑥	車線減少標識板
⑦	黄色回転灯
○	セーフティコーン
＜＞	バリケード
	交通誘導員
	車両進行方向

注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

日 付	千葉都市モノレール株式会社			管理	調査	監査	工事名称	千葉都市モノレールインフラ部設備塗装工事 (4工区)	図面名称	交通規制図①<参考図>	日 付	図 示	図 番 号	参考図-4
							工事箇所							

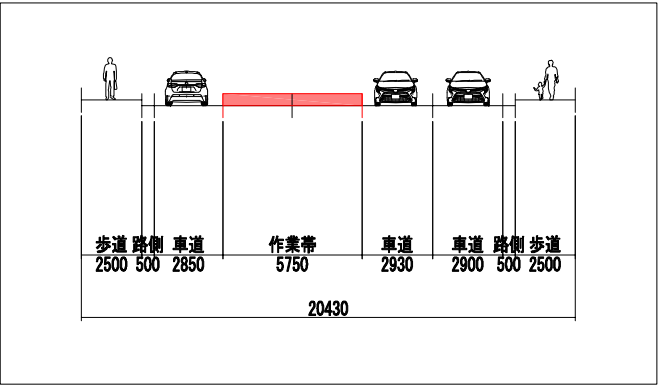
交通規制図②<参考図>
(4工区)

位置図 S=1/250(1/500)



断面図 S=1/150(1/300)

A-A



<凡例>

①	工事中表示板
②	工事件名表示板
③	工事予告表示板 50, 100, 200
④	矢印板
⑤	速度落とせ標識板
⑥	車線減少標識板
⑦	黄色回転灯
○	セーフティコーン
—	バリケード
人	交通誘導員
→	車両進行方向

注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

目次	千葉都市モノレール株式会社			管理	調査	図面	工事名称	千葉都市モノレールインフラ部設備整備工事 (4工区)	図面名称	交通規制図②<参考図>	日付	図示	備考	参考図-5
							工事箇所							